

令和7年11月22日

国士舘大学大学院 スポーツ・システム研究科（修士課程）

第 I 期 入学試験

試験科目名：小論文

子ども（児童生徒）が豊かなスポーツライフを実現するために、学校や地域社会等でどのような取り組みが必要か。あなたの考えを述べなさい。

# 令和8年度 国士舘大学大学院入学試験

## 出題の意図と採点のポイント

研究科名	スポーツ・システム研究科 修士課程
試験期別	I期
試験区分	社会人選考・留学生選考
試験科目名	小論文

### ■出題の意図

現在、子どもたちには体力・運動能力や運動実施の2極化傾向ほか、運動・スポーツに対する意欲の2極化傾向がみられる。小学校、中学校及び高等学校では、体育科・保健体育科の教科の目標として、小学校体育科を例にとれば、「生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成すること」(文部科学省, 2018, p.17)を掲げている。他方で、各学校において、体育・健康に関する指導を効果的に進めるためには、「地域の関係機関・団体の協力を得つつ、計画的、継続的に指導することが重要である」(文部科学省, 2018, p.172)ともされている。

本問題では、子どもたちが生涯にわたって運動・スポーツに親しむために、学校や地域社会等が取り組むべきこと、あるいは学校が地域社会と連携して取り組むべきことについて、具体的な事例(学校教育活動、地域人材を活用した学校教育の充実など)に触れながら考えを述べられるかを評価するものである。

### 【引用文献】

文部科学省(2018)小学校学習指導要領(平成29年告示)体育編, 東洋館出版社。

### ■採点のポイント

- 1) 現代の子どもたちの体力・運動能力、運動実施状況及び運動意欲に関する実態について触れているか。
- 2) 学校において子どもたちが運動・スポーツに積極的に取り組めるようにする工夫について述べているか(教育者の立場になった際、子どもたちの身体活動を豊かにすることを見通せているか)。
- 3) 地域社会等において、どのようにスポーツを推進していくかについて述べているか(地域社会等でスポーツを振興する立場になった際に、学校外での身体活動を豊かにすることを見通せているか)。
- 4) 2)と3)に加え、学校と地域社会等がいかに連携して豊かなスポーツライフの実現に向けて取り組むかについて触れられているか。

※家庭との連携を図る手立てについて述べていることも可とする。